

製品名: FASTKD3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10844**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	FASTKD3
別名	FASTKD3; FAST kinase domain-containing protein 3
遺伝子 ID	79072.0
SwissProt ID	Q14CZ7
免疫原	抗血清はヒト FAKD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

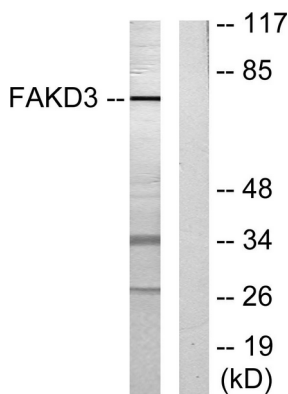
背景

この遺伝子は、Fas 活性化セリン / スレオニンキナーゼドメイン (FASTKD) の小規模ファミリーに属するタンパク質をコードします。このファミリーは、アミノ末端ミトコンドリア標的ドメインと複数のカルボキシ末端 FAST ドメイン、そして推定 RNA 結合 RAP

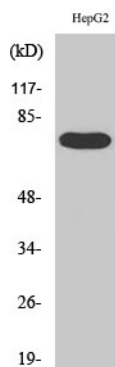
ドメインを共有するタンパク質を含みます。このファミリーのメンバーは普遍的に発現しており、心臓、骨格筋、褐色脂肪組織などのミトコンドリアに富む組織に最も多く存在します。このタンパク質ファミリーの一部のメンバーは、アポトーシスにおいて役割を果たしている可能性があります。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ミトコンドリアの呼吸および翻訳ネットワークの構成要素と相互作用します。この遺伝子の偽遺伝子は 5 番染色体にも存在します。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 1 月],類似性: FAST キナーゼファミリーに属します。類似性: 1 つの RAP ドメインを含みます。、

研究分野

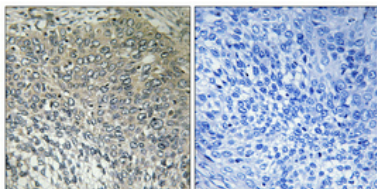
画像データ



FAKD3 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FASTKD3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。